

記者発表資料 令和7年5月27日 復興・危機管理部防災推進課 担当：佐藤・三浦・小谷 TEL：022-211-2375 メール：bosaik@pref.miyagi.lg.jp
---

## 令和7年度「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練について

「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」など、今後発生が想定されている大規模災害に対し、平時から不断の備えを行う必要があります。

そのため、県では「震災対策推進条例」に定める「みやぎ県民防災の日」と時期を同じくして、県及び防災関係機関相互の連携強化を図ることを目的に、『「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練』を実施しますので、お知らせします。

### 1 日時

令和7年6月11日（水） 午前9時から午後4時30分まで

### 2 場所

- ・県行政庁舎（講堂、特別会議室及び危機管理センター ほか）
- ・各県合同庁舎 ほか

### 3 訓練想定

- ・令和7年6月11日（水）午前9時、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生
- ・県内の広い範囲で震度5強～6強を観測
- ・大津波警報が発表され、沿岸部全域に津波が到達

### 4 被害想定

- ・東日本大震災と同等の人的・住家被害、ライフライン被害等が多数発生

### 5 訓練項目

#### (1) 図上訓練

##### ①災害対策本部

- ・災害対策本部会議の設置・運営

##### ②災害対策本部地方支部（地域部）

- ・地方支部（地域部）事務局の設置・運営
- ・被災市町村初動派遣職員の派遣に関する調整

（実動訓練は6月26日（木）、27日（金）に実施予定 ※取材はできません。）

##### ③原子力防災訓練

- ・初動対応の確認

## (2) 実動訓練

ヘリコプターによる離着陸（5月29日（木）※取材はできません。）

- ・仙台合同庁舎B棟（国）屋上ヘリポートを会場とした離着陸
- ・ヘリコプターからの映像受配信

## 6 今年度訓練の特徴

重点項目として、次の3点に取り組む。

### (1) 受援体制の強化

- ・「応受援計画」に基づき、令和6年能登半島地震の経験も踏まえた手順の再確認

### (2) 通信体制の強化

- ・人工衛星通信機器も利用し、多様な通信体制の確保

### (3) 災害対応スキーム等の再確認及び応急対策の標準化

- ・「大規模災害応急対策マニュアル」における各種手順の習熟
- ・災害対策本部の適切な運用など応急対策の標準化

## 7 参加予定機関（各機関事務所対応を含む）

62機関 約700名（うち防災関係機関：約200名、県職員：約500名）

東北総合通信局、国土地理院東北地方測量部、東北地方整備局、東北運輸局、  
仙台管区气象台、第二管区海上保安本部、東北防衛局、自衛隊、県警、消防本部（局）、  
ライフライン・物流関係機関 ほか

## 8 訓練の中止

- (1) 大規模災害等の発生状況によっては、訓練を中止することがあります。
- (2) 訓練内容の一部または全部を中止する場合は、当日午前8時30分までに投げ込みにてお知らせします。

## 9 取材申し込み

訓練の取材については、事前に申し込みをいただきます。詳細は別添『令和7年度「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練の取材について（お願い）』を参照願います。